

8・27集会

”スノーデンの警告!”



ここまでできている日本の監視社会

初めてスノーデンに単独インタビューした日本の
ジャーナリスト・小笠原みどりさんのお話し

◆日時 2016年8月27日(土) 13時30分～16時30分

◆会場 渋谷勤労福祉会館 第一洋室 (地図は裏面)

◆第1部 講演 小笠原 みどりさん (ジャーナリスト)

講師紹介: ジャーナリストとして活動する一方でカナダ・クィーンズ大学大学院で監視社会研究を続ける。今年6月から7月にかけて『サンデー毎日』にスノーデンとの単独インタビューを連載。
*単著『世界中のひまわり姫へー未来をひらく女性差別撤廃条約』(ポプラ社)
*共著『共通番号制なんていらない!—監視社会への対抗と個人情報保護のために』(航思社)
*翻訳『監視スタディーズ—「見ること」「見られること」の社会理論』(岩波書店)

◆第2部 シンポジウム

海渡雄一さん (「秘密保護法」廃止へ! 実行委員会)

宮崎俊郎さん (共通番号いらぬネット)

小倉利丸さん (盗聴法廃止ネット)

小笠原みどりさん

米国元CIA、NSAの職員、エドワード・スノーデンによって暴露された米国のグローバルな諜報活動は、私たちの想像を超えるものでした。2013年のこの暴露以降、多くの国のジャーナリストや反監視運動は、隠蔽されてきたグローバルな監視社会化に歯止めをかける運動に取り組み始めています。

日米同盟の強化にひた走るこの国は、秘密保護法、戦争法制定、盗聴法改悪を矢継ぎ早に実現させ、テロ対策を口実とした日常生活への監視強化から個人番号制度に至るまで、監視社会の蔓延は歯止めがきかない状態に陥っているように見えます。

本集会では、日本のジャーナリストとして初めてスノーデンとの単独インタビューを実現した小笠原みどりさんをゲストにお招きして、スノーデンが警告する監視社会の現実についてお話いただきます。監視社会化に憂慮し、市民的自由を闘いとる運動に関心を持つ多くの皆さんの参加を呼びかけます。

◆共催

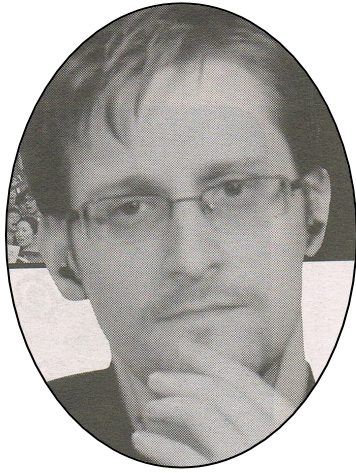
「秘密保護法」廃止へ! 実行委員会 (090-6138-9593・中森)

盗聴法廃止ネット (070-5553-5495・小倉)

共通番号いらぬネット (080-5052-0270・宮崎)

◆参加費 500円

エドワード・ジョセフ・スノーデン



*1983年6月21日ノースカロライナ州エリザベスシティ生まれ。現在32歳。ロシアに亡命。
*2006年CIA職員としてコンピュータ・セキュリティに関連した任務に従事。2009年から2013年まで国家安全保障局(NSA)のインディペンデント・コントラクターとして仕事、2009年には横田基地のNSA関連施設で高度な機密を扱っていたこともあるサイバー・セキュリティのエキスパート。
*2013年6月、米国の世界同時監視システムを内部告発。世界中が震撼した。NSAがテロ防止を名目に、一般市民のインターネットやEメール、電話によるコミュニケーションを監視・盗聴していた事実を暴露。ドイツのメルケル首相やブラジルのルセフ大統領、日本においては省庁が大規模に盗聴されていた。

プライバシーは何かを隠すため
にではなく、守るためにある。

自分の言うこと、すること、話す相手、
創造や愛、友情の表現、そのすべてが記録
される世界に僕は住みたくない。

【渋谷勤労福祉会館】



所在地：東京都渋谷区神南1-19-8 渋谷区立勤労福祉会館
JR山手線渋谷駅7-1番出口徒歩5分。
公園通りをNHK方面へ、渋谷パルコPart1の筋向い。